

新京都府環境基本計画の進捗状況

(「明日の京都」実施状況報告書 抜粋)

資料 1 - 1

使命	基本目標	測定指標	単位	基準値 (基準年)	数値目標 (目標年)	現状 ※平成24年度末	動向
低炭素社会をつくること	府内のCO2排出量が減少すること	府内温室効果ガス総排出量(年間)	万t-CO2	1,477 (平成2年度)	1,107 <H2比25%削減> (平成32年度)	1,309 (平成23年度)	△
		大規模排出事業者の温室効果ガス排出量(年間)	万t-CO2	425 (平成20年度)	365 (平成32年度)	386 (平成23年度)	○
		エコポイント事業に参画する府内の一般家庭の数(3月末現在)	世帯	129 (平成24年度)	200 (平成26年度)	H24.6から関西広域連合で「関西スタイル・エコポイント事業」開始	
		太陽光発電設備又は太陽熱利用設備を導入している戸建住宅数(累計)	世帯	10,200 (平成21年度)	100,000 (平成32年度)	21,500	○
		EV(電気自動車)・PHV(プラグインハイブリッド自動車)の登録台数(3月末現在)	台	50 (平成21年度)	5,000 (平成25年度)	1,050	×
		「ウッドマイレージCO2」認証等製品出荷量(年間)	m3	17,272 (平成21年度)	25,000 (平成26年度)	18,826	△
循環型社会を形成すること	リユースやリサイクルをはじめとした資源循環のしくみが確立されること	府内における一般廃棄物排出量(年間)	万t	99 (平成20年度)	81 (平成26年度)	90 (平成23年度)	△
		リサイクル率(年間)	%	13.0 (平成20年度)	15.8 (平成26年度)	13.4 (平成23年度)	△
優れたまちみや景観、自然環境や生活環境を創出すること	優れた景観の保全・創出箇所が拡大すること	景観計画の策定状況(3月末現在)(景観計画の策定数(府含む)/ (府+市町村数))	%	19.0 (平成21年度)	40.0 (平成26年度)	22.0	△
		京都府景観資産の登録件数(3月末現在)	件	13 (平成21年度)	30 (平成26年度)	17	△
		「京の景観パートナーシップ」の登録団体数(3月末現在)	団体	2 (平成24年度)	10 (平成26年度)	H24年度制度創設	
	廃棄物の不法投棄が抑止されること	府内における産業廃棄物投棄量(年間)	t	1,873 (平16~20年度平均)	900 (平成26年度)	0	◎
	騒音や大気・水質などの状況が改善されること	交通量の多い市街地における自動車交通騒音の環境基準達成率	%	87 (平17~21年度平均)	88 (平成26年度)	91	◎
		BOD(生物化学的酸素要求量)及びCOD(化学的酸素要求量)に係る環境基準達成率(年間)	%	88 (平19~21年度平均)	89 (平成26年度)	88	△
浮遊粒子状物質、二酸化窒素の大気中濃度に係る環境基準達成率(年間)		%	100 (平成21年度)	100 (平成26年度)	100	◎	
自然環境と調和した暮らしを推進すること	自然環境と調和したライフスタイルが拡大すること	自然環境と調和したライフスタイルを実践する人の割合	%	73 (平成23年度)	増加 (平成26年度)	68	×
人々の環境意識を高めること	環境について理解を深める機会が拡大すること	府等の環境教育・学習の機会に参画する人の数(延べ人数)(年間)	人	56,200 (平成21年度)	84,000 (平成26年度)	70,370	△
		府民、企業、団体、NPO、大学等が連携して森林づくりに取り組むモデルフォレスト運動への参画者数(延べ人数)(年間)	人	約3,000 (平19~21年度平均)	6,000 (平成26年度)	7,000	◎
生物多様性を保全すること	多様な生き物の生命が大切にされること	府内において「絶滅種」に指定された野生生物種等の数	種	新たな絶滅指定種を増やさない。		△ 14 (平成25年 93種)	—
		認定保全回復事業の認定件数(累計)	件	3 (平成21年度)	6 (平成26年度)	6	◎
		府民協働による保全回復事業の協定の認定件数(累計)	件	2 (平成21年度)	4 (平成26年度)	4	◎

出展：府政運営の指針「明日の京都」の実施状況をとりまとめた、2013年度版ベンチマークレポート〈「明日の京都」実施状況報告書〉

◎○△×：中期計画目標に対する水準(◎ 達成、○ 参考年間目標値以上、△ 参考年間目標未達)